

支援プログラム

児童発達支援事業所
キッズサポートてみる

2024年11月1日作成

理念

子どもたちの可能性を信じ、自立した社会参加を目指す

療育方針

個別支援の実践

- 一人ひとりの特性やニーズに応じた個別支援計画の作成と実施
- 発達水準に基づく個別評価の実施

専門的アプローチの導入

- 感覚統合療法の実施による感覚処理能力の向上
- ソーシャルスキルトレーニング（SST）を通じた社会性の発達支援
- 言語療法や理学療法などの専門的な療育の提供

日常生活スキルの獲得

- 基本的な生活習慣の確立に向けた支援
- 自立心を育む日常生活動作（ADL）の練習

コミュニケーション能力の向上

- 言語・非言語コミュニケーションスキルの発達支援
- 対人関係スキルの向上を目指した活動の実施

事業所情報

営業日

月曜日～土曜日（日・祝休み）

※夏季休業・年末年始休業あり

営業時間

8:15～17:00

療育時間

午前療育 9:00～11:00

午後療育 13:00～15:00

送迎の有無

送迎あり

【送迎範囲】西谷山・谷山中央・慈眼寺町・和田

※上記エリア周辺のうち送迎ルートにより送迎可能な範囲あり

所在地

鹿児島県鹿児島市西谷山3丁目2-22

療育プログラム

活動スケジュールに沿って各療育プログラムを実施

模倣あそび

音楽・絵本を活用したあそびなどを通して支援者の動作模倣を行います。言葉の表出には欠かせない遊びの一つであり、粗大運動・微細運動の獲得、粗大模倣から微細模倣への動作習得、身体表出から言語表出への拡大を主なねらいとしています。



ルールあそび

子どもたちの水準にあったルールのあるあそびを行います。考える力・社会性を養うあそび、協調性を養うあそび、勝敗があるあそびなどを通して、ルール理解はもちろん対人スキル向上・情緒コントロール・個別スキルの向上へ繋がります。



運動あそび

平均台・飛び石・鉄棒・ハシゴ・感覚統合器具など様々な用具を使用した運動あそびを行います。前頭葉機能の向上・前庭感覚や固有感覚の調整・ボディイメージの構築などの目的はもちろん順番を守ったり使用方法の説明をしっかりと聞いたりするなど集中力・注意力の向上へ繋げ社会性・協調性を養います。



感覚あそび

様々な感触を楽しみながら触覚刺激の調整を行います。感覚過敏のお子さまにも配慮しながら少しずつ感触に慣れつつ発展した遊びができるように支援します。また、粘土やスライム・寒天など手触りを楽しむだけでなく、年中・年長児さんは見本どおりにひらがなを作るなど、楽しみながら文字への理解も深めます。



セレクト活動

記憶課題・手指巧緻課題・概念理解・ソーシャルスキルトレーニング・理学療法士による専門的支援など個別の課題に即した支援を提供します。個別指導やグループでの小集団指導など課題に準じた支援形態も配慮します。また、必要に応じて評価も行います。



おくちあそび

発声器官の動作向上・舌や口唇のコントロール機能向上・表情筋の柔軟性や機能向上などを目的として、おくちの体操や教具を使用したおくちあそびを行います。吹き戻し・風車・吹きゴマなど楽しく取り組めるように工夫しながら、必要に応じて評価も行い正しい構音へと繋がります。



支援内容

キッズサポートてみるにおける療育プログラムごとの本人支援内容と5領域の関連

プログラム	本人支援の内容				
	健康・生活	運動・感覚	認知・行動	言語・コミュニケーション	人間関係・社会性
5領域					
はじまりの会 おわりの会 (模倣あそび)	<ul style="list-style-type: none"> ■通所時の健康状態のチェック ■自己調整力・自己管理能力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ■模倣あそびによる動作模倣の習得 ■ボディコントロールの向上 	<ul style="list-style-type: none"> ■記憶・表現力の向上 ■注意力・集中力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ■身体表出から言語表出への拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ■支援者の見本を模倣することによる対人関係性の芽生え ■自己感情・他者感情の理解
ルールあそび	<ul style="list-style-type: none"> ■構造化された環境の中での活動による特性への配慮 	<ul style="list-style-type: none"> ■静と動が区別された環境による身体動作のコントロール 	<ul style="list-style-type: none"> ■口頭・視覚指示された情報を行動へ移す理解 	<ul style="list-style-type: none"> ■言語的コミュニケーション・非言語的コミュニケーションを活用した支援 	<ul style="list-style-type: none"> ■他者との関係性の中で関わり方や集団への参加方法を学ぶ
運動あそび	<ul style="list-style-type: none"> ■姿勢保持を含めた基本的動作指導 	<ul style="list-style-type: none"> ■感覚統合を含めた各種感覚入力と運動表出支援 ■前庭感覚（平衡感覚）の調整 ■体幹筋へのアプローチ ■ボディイメージの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ■前頭葉機能の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ■言語・非言語を活用したコミュニケーション支援 	<ul style="list-style-type: none"> ■集団活動による順番意識の形成
感覚あそび	<ul style="list-style-type: none"> ■触覚刺激から咀嚼・嚥下機能の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ■手指巧緻動作の獲得 ■模倣運動の獲得 	<ul style="list-style-type: none"> ■感覚教具を使用した文字・数の概念理解を促す支援 ■識別系感覚の発達（触覚防衛反応の軽減） 	<ul style="list-style-type: none"> ■教具を用いた他者との相互関係性によるコミュニケーション支援 	<ul style="list-style-type: none"> ■触覚刺激の調整による愛着形成支援 ■感覚刺激による情緒の安定
セレクト活動	<ul style="list-style-type: none"> ■基本的生活動作スキル獲得のための評価・支援 	<ul style="list-style-type: none"> ■粗大運動・微細運動の評価・支援 ■月齢毎の運動スキルの評価・支援 	<ul style="list-style-type: none"> ■視覚・聴覚からの情報を正しく表出するための評価・支援 ■月齢や特性に合わせた記憶容量の評価・支援 	<ul style="list-style-type: none"> ■お口あそびを通してのコミュニケーション支援 ■就学を見据えた文字・数の読み書き支援 	<ul style="list-style-type: none"> ■ソーシャルスキルトレーニングを通じた社会性の獲得支援 ■他者理解を深めるためのコミュニケーショントレーニング

支援内容

キッズサポートてみるにおけるその他支援・取り組み等

支援	支援の内容
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ■ 連絡帳を使用して、日々の様子を伝え、療育支援の様子をご家族と共有している ■ 家庭での様子を聞き取り、情報交換を行いながら都度相談対応を行っている
移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ■ 必要に応じて園への訪問や電話での聞き取りを行い、課題となる場面への対応を検討している
地域支援 地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ■ 担当者会議等、各関係機関と連携を図りながらニーズに沿った支援を行っている ■ 学生ボランティアの受け入れ
職員の質向上	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各種研修等の受講 ■ 児童発達支援専門の動画研修受講 ■ 療育関連専門書籍の充実 ■ 情報共有ツールの活用
主な行事	<ul style="list-style-type: none"> ■ 避難訓練（年2回） ■ 季節の行事を取り入れた療育プログラムなどの実施